



白樺は空に向かって立つ



湧雲

第12号
2021年3月1日発行

発行・北海道深川西高等学校同窓会
〒074-0012 北海道深川市西町7番31号
TEL 0164-23-2263 FAX 0164-23-2264

同窓生数
17,409名

デザイン・印刷・SALAT (株)サラト
〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172
Tel:079-284-1380 <https://salat.co.jp>

卒業記念植樹事業



第十一回記念植樹「カツラ」

2020 / 10 / 10

参加者..

- 教師・小玉和寛
- 教師・奥井 学
- 1組・加藤広夢 高松大樹
- 田川翔大 山本桃花
- 2組・門脇瑞樹 篠田 海
- 高木優歌

委員会..

- 坪田委員長、堀川副委員長、
- 岡部、篠原、寺前、末松、寺下、
- 妻神、村中、山田、藤井、溝口

太平洋上をよたよたとのろろのと北上し関東に影響を及ぼしながら向きを南に変えて迷走中の台風14号。打って変わって深川は風も無く、青空が広がり一枚脱ぎたくなるような心地よい日よりとなったのだが、やはり動いていると暑いのだが日陰に入ると寒い。

山道の両脇はヌルデや山葡萄などが秋の気配を醸す彩りがところどころにあつて美しい。気温が高い日が続いたことで木々はまだ緑を保っている。今回の秋作業は新委員も加わったことから12人の参加を見た。心強い。メ

イン作業は今冬の少雪でウサギの被害が大きかったことからもう一段ネットをかき上げずること。食害に遭った桜の代わりに3mの桜の苗木3本を植えこむことと記念植樹「カツラ」用の準備をするこ

委員それぞれ分担任して作業にかかると。記念植樹の植え付け場所と補植用の穴をあらかじめユニボで開けてあったので穴に残っている石をよけて整えるだけで良いのだが苗木が3mものなので根回しされた土が多くて重いことの上もない。3人がかりでやつとのこと

から学年2クラスとなったため1クラス3〜4名の参加をお願いした。急遽生徒1名欠席で6名の参加者となった。生徒たちは石碑の前で食事。少し肌寒くなってきたので時間を繰り上げて12時から植樹に取り掛かる。各自ヘルメットをかぶって現場に向かう。坪田委員長から挨拶の後、事務局から作業への説明。生徒はそれぞれ土を寄せて十分に灌水し、足で根元を踏み固めたあと記念のプレートを取り付けて全員で記念撮影を行って終了となる。

き目の穴は準備万端。看板を立てるパイプも、昨年準備した打ち込みハンマーを使用したので安心して作業ができたし、効率よく準備することができた。添え木を打ち込むハンマーがあったらいいのにとの話も出ていたので鍛冶屋に依頼してみようかと思う。

バスに乗り込んで沖里河山の頂上を目指す。あたりは秋色の衣をまとった背景に白樺の白い木肌が日に照らされて美しい。階段を上って頂上からの眺望を堪能し、学校が確認できたことで生徒のみなさんはご満悦。記念写真を撮って下山となる。先日の局地的な大雨が山頂部から山腹にかけて道路に真新しい雨劣をつくっていた。道が荒れ気味だったがバスは大きくてさすがに安定していた。

30分ほどあり雑談の中で情報交換を行う。

委員の高齢化に伴い作業の省略化も考えて樹も自立できる方策に向かつて作業に取り組むことは変わりないが毎年殺鼠剤の散布は欠かせない。鼠からの被害を防ぐことに重点を置き、桜と植樹した根元に殺鼠剤を十分に散布する。

用事のある委員さんは随時帰ったので校舎の冬囲いは坪田、堀川、岡部、山田、妻神、藤井委員と事務局の7名で抑止用の丸太を一手所立てることヤマボウシを中心に剪定作業、加えて根元をネットで保護し直して秋の作業は終了とした。

ユリノキの行程が鮮やかに黄葉し始めていた。



コロナ禍の中で

「新型コロナウイルス」が世界も社会も一変させた。1月16日、日本で最初の感染者確認。中国から伝わる報道に1月の末頃から不穏な空気が流れていた。案の定、北海道初の感染者は1月28日中国・武漢からの旅行者より出てしまった。

中国からの観光客をストップさせないまま2月に入って札幌雪祭りが盛大に行われた。祭りが終わった頃から異変が：道内の初期の感染者は多く、時を待たず人の移動につれて日本のあちこちに発症者が相次いだ。例年3月1日に実施されていた卒業式は、道教委からの通達があり直前に延期。卒業生は予行練習もなく、保護者、在校生、来賓の出席もかなわず、卒業生と教員のみで3日にひっそりと実施された。当日は密を避けるために、式終了後は早めの



帰宅を促し、アルバムに寄せ書きをすることも、一人一人高校時代の思い出を語る時間もなく、何とも寂しく悲しい人生へのはなむけの時間となってしまった。それでも、卒業式の様子をDVDに編集し希望する保護者に配布したのがせめてもの慰めとなった。

高校入試は実施されるも学科試験のみで面接試験は中止された。全受験生の机・椅子、廊下の床や階段の手すり、スイッチやトイレなど、職員総出で校舎内の消毒作業を行ったとのこと。終了式も、離任式も行われず、クラス替えを前に現クラスのお別れもできないままの年度末となった。休校中のため、体育館は時間が止まったかのようになり、卒業式の状態のまま1ヶ月余りが過ぎていた。4月に入りようやく学校が再開されるも、入学式は卒業式と同じく保護者、来賓も参加しない形態で実施された。希望を胸にと言うよりも、これからどうなるのか、という不安の表情が濃い高校生活のスタートとなった。

学校が再開されて1週間余り、まさかの2度目の休校措置に入る。勉強と並ぶ大事な青春の発揚の場ともなる高体連、全道大会、インターハイの中止が次々に発表された。3年間の努力の成果を発揮する場の喪失は、特に3年生にとっては大きな傷跡になってしまった。

6月からの学校再開に向け分散登校が行われたが、目標を失い路頭に迷っているかのようになつるな目だけが、マスクのすき間から垣間見えた。しかし、登校再開により徐々に日常生活を取り戻す中で、新たな目標を設定したり、進路目標に向けていつも通り励むようになっていった

ようである。

青春の思い出となる学校行事はすべて中止。1年生が先輩に学ぶ学校祭やクラス大会、体育大会が開催されず、3大行事の伝統の継承も危ぶまれる事態が続く、思い出の卒業アルバムを埋める素材が全く開催されないというやりきれない世代になってしまった。半日ではあったが、合同体育授業の形態でクラス対抗の体育的イベントを行ったのがささやかな成果であった。

苦難の日々は続き、発熱、風邪症状、体調が悪い生徒には、学校を休ませる対応をとり、外部との接触のある進路室などや、職員室はアクリル板で区切って感染対策の対応を行った。授業時間はマスク、密回避、換気。登校時には毎日検温、健康チェックは勿論のこと随時手洗いをを行った。

他校でも色々取り組まれているリモート授業は環境整備が急がれているものの、当校では行わずに長期休暇の削減によって授業時間を何とか確保している。10月予定の修学旅行は1月に延期、延期後も急拡大する感染のため再度3月に延期。訪問先も関東、関西を避け九州に変更したが、感染拡大が止まらない現状で、果たして3月に行けるかどうか。乾燥するこの時期になって道内の学校でもクラスターが発生し、インフルエンザ対応と同様に学級閉鎖や学校閉鎖が見られる。

4月16日から5月25日までの「緊急事態宣言」発出で、部活動も4月、5月は全面中止。せいぜい自宅ですみずみ程度。感染は低レベルで落ち着き、夏には少しずつ回復してきて密にならないような部活から大会も行われるようになってきたものの、GOTOトラベルで人の行き

来が増えたことで感染が拡大してきた。専門家からも指摘のあった、乾燥する冬季には感染が拡大するとの予測から、昨年と同じ経過を辿るのではなにかと心配しているのだが今後の展開は政策次第で現場では誰もわからない。

コロナ禍を過ぎた生徒達は先の見通せない受難の時代を過ごすこととなるのだが決して



てあきらめてはいけません。人生は決して明るいことばかりではないのだから。この経験をバネにして明日に挑戦して欲しい。

宮脇氏を囲んで

2019/6/21

於：プラザ富士屋

宮脇 敬氏 辻本 始氏

同窓会・大西会長 宮川副会長

成田副会長

緑の学び舎運営委員会

坪田委員長

溝口事務局長

度重なるご支援をいただきながらご挨拶をしたいと思います

大西会長を始め役員一同、同窓会が常日頃お世話になっていることにお礼を述べ、今までのご支援、ご協力に感謝の気持ちを伝えさせていただきました。お元気なお姿と真摯な語り口のなかであつという間の一時間でしたが色々情報交換をさせていただき有意義な時間をすごさせていただきました。



寄稿 五周年記念史・十周年記念史 復刻版反響

昨年、五周年記念史・十周年記念史の復刻版を発行してご希望の方にお届けしたのですが、同期の友人を通じて送った平畑秀吉さんから折り返しお礼と感想を送ってくれました。ご本人の了解を頂いて寄稿していただきました。

拝啓 その後お変わりなく元気でお過ごしのことと拝察いたし何よりと存じます。

私も相変わらずですが、新型ウイルスの為、毎週二回の卓球に興じていた楽しみの機会が、二月二十一日から札幌市内の全会場休館となった為残念です。

岡部さんから届けていただきました深高の記念誌、今一度読み返しております。難解な用語がたくさんありますので漢和辞典とにらめっこで読んでいますが、本校設立に至った経緯、当時の山本深川町長さんをはじめ北空知の多くの方々のご尽力と宇佐美家からの多額な建築資金の寄付をいただいたことなど、それから敷地の植林や水田跡地のグラウンド整備などに私達先輩の方々、父兄の方々などの奉仕があつて出来上がったことなど、創刊号にてはじめて知る事が多々ありました。

この創刊号の発行当時は大東亜戦争中で大変な時期でもあり、教育現場でもこの戦争に勝ち抜くための少年育成の重要な所であつたのでしよう。

大東亜戦争の意義について当時の解説は「肇国の国是たる八紘一宇の大理想の下に世界を変えるための再建設行事」すなわち日本建国の国是

たる全世界の和合を願ひ、東亜（アジア）の指導者となつて非人道的な勢力、米英をこの地から排除すべく戦いである、との指導の下、生徒達一丸となつて心身を鍛錬し、国の為に尽くすべく心構えで勉学に励んでいたことだろうと思ひます。

村岡先生の「食用野草の調査」、竹内先生の「燃料随想」の文を読むと、いずれ生じてくる食糧難の時代、燃料が枯渇した時の事を考えての対応について書かれており、現在の時点ではまだ大丈夫ですが、将来には考えなければならぬ事かもしれないね。

昭和二十年八月十五日終戦となり、そして平和憲法が施行されて教育方針も大きく変わり、先生方、生徒も頭の切り替えをしての再出発となり、そして三年後の十周年記念誌で、平和国家として再建に一步踏み出すべく、勉学にいそしみ、立派な文化人となる様書かれています。

又、竹内先生は戦後の民主主義を勝手に自己本位の自由のためにあると曲解している者が、真の責任ある社会生活における自由を忘れていなか猛反省が必要、と書いており、このことは現在の私達にも考えさせられる忠告の様に思われます。

それから十周年記念誌の回想文で駅伝競走の面白い出来事や音江の学校の植林の様子、現在も岡部さん方によつて管理されていることなどで興味深く読みました。

私達は終戦前後の事は、まだ小学生低学年で直接戦争の被害に遭う事がなかった田舎育ちなので、戦争に関しての関心は薄かつたように思いますが、高校生になつてから、よう

やく戦争の悲惨さを、平和の大切さを学んでからは、良く父の大東亜戦争の原因すべてを否定することは出来ないのではないか、との意見には反対してよく言い合つた事を思い出して、これも今では懐かしい思い出になつています。

私は高校卒業後、農家の長男でしたので当然後継者として昭和五十三年秋頃まで水田、酪農など多度志町屈狩でしていましたが、なにしろ市街地から八キロ程の僻地、為、市街地に移住する人、離農する人が相継ぎ、ついに昭和五十三年末には我家一軒になる可能性が大になり、この秋の収穫が終わり次第札幌で不動産業をしていた義兄を頼つて札幌に移転し、義兄の会社で勤める事になり、田舎者で不慣れた仕事でしたが、何とか仕事をこなし、(中略)今、老夫婦二人の生活、二人ともまあまあ健康を維持していますので気楽な毎日の生活ですが、この頃は妻の権力が強くなり、何事も妻の意に沿うよう心掛ける様になっています。少しいらつきますが、毎日の三度の食事を作つてもらつてるので仕方ない事と諦めています。

日本各地でコロナウイルスの感染問題、大雨による水害など大変なことが次々と起こつておりますが、北海道もこれから台風時期も近づいてきます、気を緩める事の出来ない時が続きますが、お互い健康には充分気を配り、元気で毎日を過ごせませよと願っています。

令和二年七月十九日
平畑 秀吉 (七期生) 敬具

北空知周辺の文人・文学・文化 (99)

「報國誌」創刊号 開校五周年は、北海道江深川中学校が併設された編輯兼発行者として、昭和十八年四月二十五日に非売品として刊行したのである。(ここでは、雑誌以外に新漢字で記すことにする)

「會報」創刊十周年記念誌は、北海道立深川高等学校同窓会・校友会が、昭和二十三年七月十日、道立深川高等学校同窓会編刊誌、道立深川高等学校校友会田統伍が編集発行人として、非売品で刊行したものである。

右の二冊は、中村隆志(自稱六期生・新制高校一期生)が保存していたもので、十三年前

「報國誌」創刊(一) 中村から溝口信義に手渡されている。そして二〇一九年令和元年七月十五日、深川西高の同窓会が、再版発行責任者溝口信義(十六期)が復刻・再版したものである。「復刻版の刊行に当たつて」に、五年史には「緒言」の動きと学校の有り様を見ることが出来る。十年史は戦後の物資の乏しい中で発行された記念史となつていてと述べ、二十年史は「活版ではなく方版刷りの紙面は物資に窮する時代背景にも関わら

「報國誌」創刊(二) 「會報」には、小説家・寺島龍史が随想「蛙のたはごと」で深川の人について「概して温厚だがそれだけに、引込め思案などもみえる」と述べ、町については「少し陰鬱で、平凡な町だ、しかし、昔は山を背景としたこの町の風光は好ましい」と記す。寺島は根室生まれで、東京から疎開して戦時中、深川(二己)に住み、深川を舞台とする小説「鷲の幸福」(青年論壇社、昭和二十一年)を渡されたことに端を発するのだと上梓し、深川の医師・歌人鬼川俊蔵の歌集「あし笛」(札幌青磁社、昭和二十二年)刊行の手伝いをしたと記す。

「報國誌」創刊(三) 鬼川俊蔵は「會報」に随筆「現実生活」を寄稿し、いかにも医師

「報國誌」創刊(四) 有弘は「報國誌」の

「報國誌」創刊(五) 有弘は「報國誌」の

「報國誌」創刊(六) 有弘は「報國誌」の

「報國誌」創刊(七) 有弘は「報國誌」の

ず、開校から十年を終った動きを何とかして残そうとして発行した当時の人たちの気概を感じ取ることが出来る」と記している。

「報國誌」の「報國誌」の「報國誌」の

「報國誌」の「報國誌」の「報國誌」の

「報國誌」の「報國誌」の「報國誌」の

「報國誌」の「報國誌」の「報國誌」の

「報國誌」の「報國誌」の「報國誌」の

「報國誌」の「報國誌」の「報國誌」の

「報國誌」の「報國誌」の「報國誌」の

「報國誌」の「報國誌」の「報國誌」の

同窓会総会開催報告

新型コロナウイルスの影響で第77回総会も書面での議決となりました。以下、事業報告です。

令和元年度事業報告

自・平成31年4月1日
至・令和2年3月31日

1、会議・行事に関する事項

〈平成31年(2019年)〉
4月8日・平成31年度(第74回)入学式
大西会長
大西幹事長出席

入学生85名
大西会長

4月12日・転入教職員歓迎会
転入者4名
ラ・カンパニー
大西会長

〈令和元年(2019年)〉
5月1日・令和に変わる
5月15日・役員会 富士屋
6月5日・第76回定時総会
参加者48名
ラ・カンパニー
「イタヤカエデ」

10月12日・第10回卒業記念植樹
「イタヤカエデ」

〈令和2年(2020年)〉

2月28日・同窓会入会式は新型コロナで中止
入会者132名

2月29日・同窓会会報第11号発行

3月1日・第72回卒業式は卒業生のみで行う。

3月26日・転出・退職教職員送別会も中止
卒業生132名

4月17日・会計監査
転出及び退職者4名

【同窓の集い】

8月7日・第1回同窓の夕べ打合せ
(日の出)
末尾2期
実行委員長・廣上さん

9月11日・最終打ち合わせ
券集約等
ラ・カンパニー

9月21日・同窓の夕べ
参加者・207名
売券218枚
同日、第5回・同窓親睦ゴルフ大会開催

11月14日・同窓の夕べ反省会
(日の出)

2、会報の編纂

① 2月29日 第11号発行
(通算・第21号発行)

3、母校の後援に関する事業

① 10年計画による前庭の植栽の点検(12年目)

② 体育系、文化系共に全国大会、全道大会へ出場する生徒へ支援

③ 10月12日・卒業予定者8名による記念植樹「イタヤカエデ」

④ プレス幕の貸与。会旗、部旗、健闘幕作成貸与

⑤ その他

4、会員相互の親睦 交流に関する事業

① 同窓の夕べの開催
(上記報告済み)

② 各支部現況報告
(同窓会云報にて報告)

③ 各期の動き
(同窓会云報にて報告)

④ 親睦交流ゴルフ大会の開催

⑤ その他

5、同窓会林に関する事業

委員会報告(別記)

6、その他、本会の目的達成のため必要な事業

2019年 一般会計報告

収入の部

項目	一般会計
前期繰越金	4,523
入会金	180,000
振替金	700,000
会報	2,000
会報コンビニ	165,527
会報郵便局	442,940
雑収入	1,000
利息	1
合計	1,495,991

支出の部

項目	一般会計
総会費	65,232
振替金	160,000
役員会議費	17,517
会議費	82,938
支援激励費	124,000
交際費	19,416
事業費	115,404
会報費	797,742
通信費	6,200
印刷費	23,640
雑費	3,044
予備費	0
次期繰越金	80,858
合計	1,495,991

母校支援事業

◎ 大会出場激励会



2020年9月17日



2020年11月9日



2020年12月15日

◎ 懸垂幕設置

令和2年(2020)2月17日にPTA副会長の田村 功氏と出会った際に「卒業と入学時に祝幕を掲揚してはどうでしょうか」との相談を受けたことから80周年の時の浄財を当てることのできないか検討。丁度、80周年記念事業で懸垂幕を掲揚できる設備を設置したことから急遽作成することにしました。『卒業おめでとう! 希望に満ちた 未来に羽ばたけ』は令和2年(2020)2月28日朝に懸垂幕に設置完了。同日、例年開催されていた同窓会の入会式は新型コロナウイルスの為に中止となったが、卒業式は3月2日、万全の対策の中、在校生は参加せず卒業生だけで執り行われる寂しい祝祭となったが新設した祝幕は卒業生の前途を祝うにふさわしい応援幕となり卒業に花を添えることになったことは喜ばしい事であった。



『入学おめでとう! きり拓き 創りあげる 人に考える力を豊かな心を 強い身体を』は令和2年(2020)4月6日朝に設置完了。入学式は4月8日に執り行われたがコロナ禍の中にあつて入学生と父母のみの入学式となった。期待と不安に包まれた新入生には幕に込められた想いを受け止めて、充実した3年間を過ごしてくれる応援幕となつて欲しい。



深川西と深川東、二校体制の維持へ向けて 深川市教委が検討会を開催

ここ数年、定員割れが続いている深川市内の深川西、深川東両高校への支援事業を行っている深川市教委は十七日夜、市役所に両校や市内小中学校、管内四町の教育委員会の関係者ら三十人を招き、入学者確保や二校体制の維持に向けての検討会を開いた。吉村理明教育長は「進路の選択肢を維持し、(深川の将来を担う)人材を確保するためにも、両校の存続に向けた取り組みを続けていきたい」と強調したが出席者からは「学校の魅力の一つである進学実績が物足りない」「(定員割れが続く)現状を受け入れる必要があるのでは」など厳しい声も上がった。

深川西高校は二〇二〇年度、三間口(定員百二十人)で募集を行い、欠員は二十人。今年度から一学級減で、二学科二間口(定員八十人)となった深川東校は五十二人の欠員が出た。

道教委は、二十一年度以降の公立高校配置計画の中で、「欠員の状況や望ましい学級規模を下回る学校があることを考慮し、再編を含めた早急な定員の検討が必要」との見解を示している。

今年三月の深川市の中学生は百四十四人で、このうち市内の二校に進学したのは約半分の七十三人。一方で、滝川市内の三枚(滝川校、滝川西高、滝川工業高)に三十五人が、旭川市などが属する上川南学区の公立校に二十四人が進んだ。

深川市教委は、十四年度から、両高校の魅力向上と生徒の確保に向けた支援事業を展開。通学交通費や模擬試験・資格取得試験の受験費の助成などを行っているが、入学者の増加にはつながっていないのが現状だ。

検討会では、両高校の担当者が、カリキュラムや、進学・就職実績などについて説明した。

深川西高の吉田周平教頭は「習熟度別の授業を行い、教育相談も充実している。地域の未来を担う子どもたち一人ひとりを手厚く育てたい」、深川東校の米野祐司校長は「危機感はあるが、『学校が楽しい』『深川東に来て良かった』という生徒からの声は、年々増えている。(普通科単科の)深川西とのすみ分けを図っていきたい」と語った。

また、両校のPTA役員は、入学者の確保に向け、「交通費の助成もあるし、拡大(道短大)への進学枠もある。そういう部分をもっと発信していけば」(深川西校PTA)、「少人数のおかげで、

手厚く指導してもらえる。北空知以外の生徒にも来てもらえるようなPRを」(深川東校PTA)と提案した。

一方、他の出席者からは「進学実績は高校の魅力の一つ。将来、大学進学を希望している生徒が、(進学実績のある)市外の高校を選ぶのは、自然な形だと思う」(中学生の保護者)、「(定員割れが続いているという)現状を受け入れて検討していく必要があると思う」(管内教育委員会の担当者)などの声があがった。

さらに、深川東校同窓会長で、現在はクラーク記念国際高に勤務する通 義美さんは「クラークには、野球部、女子バレー部への入部を希望する生徒が道内外から入学してくる。公立と私立の違いはあるが、この学校に行きたいと思わせる何かがあれば、生徒は集まってくるのではないかと指摘した。

市教委は今後、学校説明会や保護者へのアンケートなどを通して支援事業の周知を行い、入学者の確保につなげたい考えだ。

二〇二〇年十一月十七日発行・四七二六号 北空知新聞社提供記事

東京支部総会

令和元年10月19日 同窓会東京支部の第21回総会が開催されました。次回22回は令和3年10月を予定していますが、コロナの関係でどうなるか今のところ不明ですが開催できるようにすれば多くの同窓生の参加をお待ちしています。

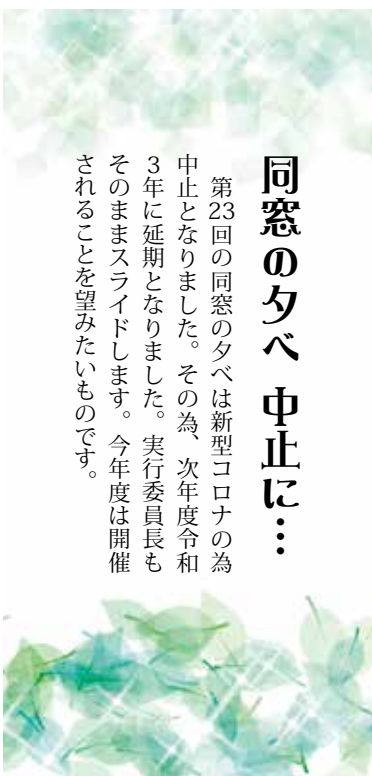
現在の役員は次の通りです。

支部長	吉川直明	(27期)
副支部長	堀口正顕	(10期)
幹事長	中村欣也	(27期)
副幹事	関肇	(11期)
副幹事	鈴木大吉	(7期)
副幹事	真鍋整充	(23期)
副幹事	川崎秀樹	(34期)
副幹事	立花顕一	(35期)
会計幹事	佐藤京子	(22期)
幹事	榮木敏明	(16期)
幹事	越智真琴	(19期)
幹事	米重忠	(20期)
幹事	林興一	(20期)
幹事	花岡裕之	(22期)
幹事	大西晴樹	(23期)
幹事	中村欣也	(27期)
監査	川井宏一	(22期)
監査	梶川登	(27期)
相談役	村中末隆	(旧3期)
相談役	富原一郎	(2期)
相談役	草原克豪	(12期)
相談役	玄番秀臣	(14期)



同窓の夕べ 中止に...

第23回の同窓の夕べは新型コロナウイルスの為に中止となりました。その為、次年度令和3年に延期となりました。実行委員長もそのままスライドします。今年度は開催されることを望みたいものです。



各期動向報告

今号ではコロナ禍に見舞われて、密になり、飲食を伴い、大声で話す機会が多い同期会は年初から開催されていませんが前号の一部を修正して再掲いたしますことをお許しください。

(カッコ内は情報提供者・敬称略)

〔旧中二期〕

先輩も九十五歳の年齢になり、連絡が取れない状況です。自然消滅。

〔旧中三期〕(旧制深中2期会)

平成十四年を最後に同期全員の開催を取りやめとして以後二三年ごとに有志で開催していたようですが、さらに高齢になり、開催なし。情報提供者もいない状況です。

〔旧中三期〕(旧制深中3期同期会)

平成七年卒業五十周年を期して「俺の足音」(B5判28ページ)の記念誌を発刊。十七年には卒業六十周年記念誌「俺の一言」(B5判93ページ)を制作。十九、二十、二十一、二十二も九月札幌にて開催。危ぶまれた二十三年、二十四年も十月に開催。二十五年十月開催を最後として区切りをつけた。深川市内の有志は年に一回集まっている。(利波 清一)

〔旧中四期〕(旧制深中4期生)

平成十五年と二十年 故・中島武敏元代議士を囲んで(ふれあい会館)集まったのが最後。今後の予定もなし。

〔旧中五期〕(旧制深中5期会)

十五年鎌倉。十六年函館。十七年札幌。十八年美唄。十九年六月深川。十月台湾へ修学旅行。二十年には開

う同期会」を開催。同期生全員に案内するのはこれが最終回でしたが二十三年六月二十日開催。二十四年も六月に開催いたしました。以後高齢の為残念ですが集まりはありません。

〔五期〕

不定期開催。最近開催なし

(南 進)

〔六期〕(西高29会)

代表・永野 慶昭

われらも八十四歳となりました。深川支部は二九会なので毎年六月二十九日に開催して毎年旅行を実施したり昼食会を行いました。昨年総意を得て解散いたしました。札幌勢は年に六回集まり、東京勢は年一回集まっています。全体での開催は十七年札幌が最後。(平田 廣美)

〔七期〕(深西7期同期会)

代表・手島 克

三年毎に旭川、深川、札幌と持ち回りで開催している。十四年深川で開催、板倉に六十人参加。十七年は五十年を札幌にて八月開催、五十年参加。二十年旭川。二十三年九月五日深川で開催。二十六年九月札幌開催。二十七年、二十八年と深川で連続開催。令和元年五月十二日最後の同期会を札幌にて開催三十四名。今後は各地で随時ミニ同期会を開催していく。(手島 克)

〔八期〕

不定期開催。二十年六月札幌第一ホテルで開催。高齢となり最後の同期会と言うことで六十五名参加。それ以後は各クラスやグループが少人数で開催。二十一年八月深川在住者。九月には札幌で開催した。(清水 義弘)

〔九期〕

代表世話人・仲野 勝介
十年深川・十二年旭川・十四年札幌

催、板倉。二十年開催。二十二年九月秩父別温泉「ゆう&ゆ」で開催。二十八年七月札幌で開催。三十年六月三十日、秩父別ゆう&ゆで開催。(佐藤 豊秀)

〔十四期〕

十六年五月選暦同期会を開催。深川ホテル。二十年二月天人峡パークホテル。二十一年九月十三日深川にて開催。同期生七十八人、恩師三名。二十四年九月十三日札幌支部による発起人で開催。二十七年一月、新年会を札幌で。深川近郊同期昼食会を二十八日五月、九月に開催。首都圏同期会を二十八日十月に開催。(堀川 勝之)

〔十五期〕(深西38会)

代表・菅原 明義

札幌・吉田 裕、檜山 秀紀
以前は五年毎に開催していたが間隔が狭まった。十年は十一月、十五年は札幌で開催。十七年十月九日開催。十九年九月旭川開催。二十一年十月定山溪グランドホテルで開催。六十三名が出席。二十六年に古希の祝いで開催。喜寿は三十二年なので、開催予定です。札幌38会は偶数月に定例懇親会を恩師田中先生を囲み継続開催中です。(菅原 明義)

〔十六期〕(深川西高16期卒業同期会)

代表・星野 孟

五年毎に開催。十一年から三年毎の開催にしました。二十年九月開催。二十三年十月十日板倉にて開催しました。次回は二十六年六月二十二日に卒業五十周年で開催。二十九年六月深川にて第十一回同期会を開催。(星野 孟)

〔十七期〕(高17期同期会)

十二年に板倉、十七年八月板倉で開催。四年に一回開催が約束だが二十七年十月に卒業五十周年に当たり前倒し開催。毎年、秩父別で一泊づ

月二十日札幌にて開催。平成三十年九月札幌で開催。令和二年七十歳になるので深川で開催予定も延期。(梶川 寛)

〔三期〕

代表・広上 和好

十二年卒業三十年で開催。参加六十名(日の出)。二十年八月札幌開催。二十七年深川で開催。(松原 和男)

〔三期〕

代表世話人・坪田 邦光

十三年八月に三十年を記念して札幌にて開催。出席者八十余名。二十四年六月三十日板倉にて卒業四十周年を記念して開催。三十年十月二十日に開校八十周年で校庭にアオダモを植樹した。(齋田 光章)

〔四期〕

十四年札幌、十六年六月深川(日の出)にて開催三十五名。十七年六月札幌にて連続開催。二十年六月「まあぶ」にて開催。二十五年十月五日、京王プラザホテルにて卒業四十一年で開催。八十名出席。現在は二年に一回で開催している。札幌で三十年十月二十一日に開催六十八名。翌年の令和元年十一月十六日ミニ同期会開催四十一名。(大平由美子)

〔五期〕

十四年十一月に札幌にて開催、七十名参加。二十六年十一月選暦同期会を札幌にて開催、参加者八十名。市内在住の同期会は開催していません。(矢野 正樹)

〔二期〕(49年卒業同期会)

代表・渡辺 純

十六年は卒業三十年で九月札幌にて開催、百名参加。同窓の夕べの実行委員として携わったのを機に同窓の夕べの後に同期の集まりを持つこととしており、二十六年は二十人が集まり交流しました。二十九年六月二十四日開催。同窓会幹事二十九

〔三期〕(元気でやってる会)

代表・紺野 浩治

二十三年八月十三日(第四回)板倉にて開催。二十七年八月(第五回)を板倉にて開催。次回は三十一年度に開催だが…。(今西真理子)

〔四期〕

卒業二十年を十四年に深川で開催。

〔五期〕

卒業十五年を十年に深川で開催。(田中 一幸)

〔三六期〕(深川西高36回生同期会)

卒業二十年で十六年一月板倉にて開催。九十九名参加。

卒業二十五年を二十一年一月に開催。二十三年十月一日に第三回同期会を開催致しました。深川西高校(第三十六期生) 掲示板を開設中です。(渡辺 哲男)

〔三七期〕

十四年に板倉にて開催 (佐藤 秀樹)

〔三八期〕

四年に一度の開催で平成三十一年正月に深川で開催。(西口 健一)

〔三九期〕

十三年二月、日の出会館で開催参加、四十四名

〔四一期〕(第41期同期会)

代表・佐藤 之彦

二十一年一月二日に開催。二十五年七月十三日。三十一年一月二日に開催。五十八名 次回は四年後に開催予定 (佐藤 之彦)

〔四四期〕

二十三年一月開催。平成三十一年一月二日開催。四十九名参加 (吉住 仁陽)

〔四五期〕

二十三年一月開催。平成三十一年一月二日開催。四十九名参加 (吉住 仁陽)

校七十周年記念に合わせて式典終了後開催。二十一年以降は津田氏が亡くなったため、札幌・平林さんが後を引き継ぎ札幌で集っているが、集まるのが難しくなってきたため二十七年に記念のエッセイ集を二集出版した。

〔二期〕 平成六年岩見沢市、七年滝川市、八年幌新温泉一泊、九年箱根・東京二泊、十年深川市、十一年定山溪温泉、十二年滝川、十三年岩見沢、十四年深川、十五年札幌、十六年滝川、十七年札幌開催を最後に取りやめ、以後開催なし。(中村 隆志)

〔二期〕 (旧制中学7期・深川西高2期の集い) 毎年秋に開催していました。東京、札幌、深川持ち回り。十二年は卒業五十年で札幌、十三年はホテル館、十四年は東京、十五年は札幌、十六年は深川。二十年「喜寿の集い」をもって期友の会を打ち上げました。その後、関東、関西、北海道全域から同志が集まり一泊で温泉旅行を開催二十名参加。三十一年の誕生日で八十九歳。(大久保博夫)

〔三期〕 東京は毎年開催していたが、札幌も随時開催していたが、深川は三名ですが元気なし。平成十二年を最後に開催していない。(大鎌 幸雄)

〔四期〕 (深川西校第4期生同期会) 札幌(北斗会)ではなんとか毎月集まって親睦を深め無事を確認し励ましあっています。十六年札幌は六月、東京・四葉会は一月に開催。十七年は六月札幌、十八年札幌開催。十九年五月定山溪で、卒業五十五年で偶然にも五十五名が参加。二十年六月札幌。二十二年六月「喜寿を祝

幌・十六年北竜。十八年東京。毎年開催の意向を受けて十九年秋に定山溪、小樽。十九年三月深川在住者で開催。二十年九月深川開催。「ゆう&ゆ」に四十七名。二十三年九月四日沼田ほろしん温泉にて全体の同期会を開催しました。二十四年五月八日、東京方面でミニ同期会、五月九日市内在住者のミニ同期会でパークゴルフの会を開催。秋には東京で全体の同期会を開催。二十五年は七月十日旭川で開催。二十六年十月十五、十六鬼怒川温泉で二十三名参加開催。二十七年は開催しませんでした。毎年北空知・旭川方面在住者で同期会開催、一昨年、昨年に引き続き今年も九月に予定。(倉嶋 克郎)

〔十期〕 (深川西校第十同期会) 代表世話人・高橋 国雄 十五年六月に四十五周年記念として北広島で開催。二十三年十月二十日定山溪温泉にて五十八名の参加で旧交を温めました。二十六年十月十八日、十九日札幌にて開催。参加者四十五名。三十年七月三、四日に札幌第一ホテルにて卒業六十周年を最終として開催した。(星野 友雄)

〔十一期〕 十二年八月選歴記念を深川で開催。十六年は八月札幌七十名。十八年十月深川で開催。二十年札幌。二十七年深川で開催。(中井幸太郎)

〔十二期〕 (西高35年卒同期会) 十三年秋、選歴同期会を開催、参加五十八名。十八年小樽にて開催。二十二年六月深川にて開催。(板倉 克宏)

〔十三期〕 (三六会・サボロウ会) 代表・吉川 保 H十年HP開設ML(倉山 昭男) <http://www2.big.or.jp/~yyclub/> <http://www.egroups.co.jp/group/36kai> 十四年六月選歴記念同期会を開

ルフで親交を深めている。(濱田 靖夫)

〔十八期〕 (猪子会・いのね会) 代表世話人・宮岸 徹二 十七年九月札幌にて開催六十名。二十年十月、富士屋にて開催六十名。東京組は随時開催で二十年は九月札幌組は随時集合、深川組は毎年夏冬と二回開催している。二十三年十月十六日札幌にて開催。二十六年七月十二日開催。二十九年七月八日深川開催。(深沢 倬子)

〔十九期〕 (深川西高42会) 代表・千葉 憲一 五年に一回の開催。十七年旭岳のふもと湧別温泉で開催。登山も兼ねた。二十年は「ゆう&ゆ」で選歴同期会を十月開催。二十五年九月二十三日北広島にて開催。二十九年五月二十七日北広島にて八十二名の参加で開催。(寺下 良二)

〔二十期〕 (深川西高第20期卒業同期会) 代表・児島 俊一 四年に一回の夏期五輪開催年に合わせて開催しています。十二年六十名参加(深川ホテル)、十六年は八月に開催した。二十年八月深川で開催。東京組は二年毎に開催。二十四年八月四日、深川板倉にて開催、五十九名出席。二十八年八月六日深川開催五十七名。道内在住者の有志で「ふれ愛・語り合いゴルフコンペ」を年三回開催しています。今年八月三日に開催。年末に札幌で直会を開催しています。冬期オリピック開催年には東京で同期会を開催しています。三十年十月に箱根一泊で行いました。(小川 広見)

〔二期〕 十四年八月。十八年八月開催。二十三年八月十三日深川にて開催。四年に一度の開催と決め二十六年九

度まで高瀬昌之、三十、三十一年度は松野正明が担当。(松野 正明)

〔七期〕 (深川西高27期同期会) 十六年一月二日開催し七十四名参加。令和元年六月二十九日、八十八名集合。(館下 孝之)

〔二八期〕 (第28期同期会) 代表・三ツ井隆博 三回目となる同期会を十七年八月板倉にて開催。百名を超える参加あり。五年ごとに開催。第四回目の同期会を二十二年八月札幌にて開催。二十七年八月深川で開催。九十名出席。(増永 博志)

〔二九期〕 同期会代表世話人 新井 清一 同期会HP: <http://nshiko.mymemories.jp/> 同期会開催状況 二〇一八年十一月二十三日 選歴同窓会 ホテルニューオーニイン札幌 次回開催予定、六十五歳になる二〇二三(令和五年)。(幹事・挽地 昌弘)

〔三〇期〕 3組子年会 代表世話人・土田 光子 学年の同期会は無く三組に少数の他の組のメンバーが参加しています。(津田 恭史)

〔三二期〕 (第31期同期会) 卒業二十年を十一年に深川で開催。百十名。卒業三十年を記念して二十一年に出席者八十名で開催。二十六年十月に開催。令和元年八月十日開催六十二名参加。(宮沢 孝司)

〔三三期〕 二十四年一月二日、板倉にて二十八年ぶりに八十五名の参加者を得て開催しました。五年経過したので開催の方向です。(三上 貴康)



〔四六期〕 二十三年四月に第一回を板倉にて開催。当初五十名以上の参加申込が東日本震災の被災地支援の関係から消防、自衛隊など関連に勤務しているメンバーが参加できなくなり四十名余の参加となった。(佐藤 貞真)

〔五四期〕 二十三年六月十三日、ブランチメニューに五十人が集合。(及川 賢二)

ご協力いただいた期の幹事の方や世話人の方には大変お世話になってます。記載の情報は前年までの情報に新たな情報を追加しただけの二十二年度の積み重ねです。目新しい情報は数箇所しか追加されていません。事務局では記載の期以外は把握できていません。きつと開催しているところもたくさんあるのだらうと思います。情報の収集に努めていますし、各期の協力者を探し支援をいただきながら、それぞれの期の動向が今以上に判明するように努力していますがなかなか望みがありません。情報をお寄せいただければより充実した会報になるのですが、発信力弱いのかな？ 最近、弱音を吐いています。それぞれの期の幹事・連絡者の方には最新の情報を総会の案内の返信欄に記載していただければありがたいと思います。ご協力よろしくお願致します。

学校行事

生徒達の3大行事である、65回コーラス大会・72回学校祭・体育大会はすべて中止となりました。

課外活動

平成31・令和元年度美術展
・写真展 合同展示は中止

毎年、アートホール東州館で年度末の三月に行っている美術部・写真部の合同展は顧問の先生が異動したため開催されませんでした。令和2年度も中止のようです。コロナ禍の中では比較的活動しやすい部活動でしたが残念なことです。生徒数が減ってくる芸術、文化。スポーツ等々、色々なところに弊害が出てきます。

部活動

少子化の社会にあつて生徒数が減少していることは大変なことで、特に団体で行う競技は一校では成り立たなくなつて来ています。他校との合同チームが今後も編成されていくことが多くなるかもしれません。

北海道高校駅伝に合同チームで参加した前田さんの報告です。

第三十六回北海道高校駅伝競走大会(北海道高体連、北海道陸上競技協会など主催)が十月十日、北見市端野町の特設コースで開かれ、女子の部に出場した空知管内四校(深川

高体連・高文連成績

令和2年度 全国大会・全道大会結果一覧

写真部

高文連秋季大会 10/2 稚内市
船水ひな「瞳の奥に」 作品のみ参加
船水ひな「おうちに帰る時間」 作品のみ参加
高井萌伽「終わり」 作品のみ参加

美術部

高文連 11/3 札幌市
大道ひな 作品のみ参加
田村知也 作品のみ参加
田巻友莉梨 作品のみ参加
嶋田 結 作品のみ参加
清川春奈 作品のみ参加

放送部

放送コンテスト 11/19~20 江別市
ラジオ部門 作品のみ参加
ビデオメッセージ部門 作品のみ参加
NHK杯総合賞 作品のみ参加

陸上部

新人陸上大会 9/23~25 室蘭市
男子 110mH 伊東 予選敗退
女子 800m 前田 予選敗退
女子 100mH 今田 予選敗退
女子 走幅跳び 菅谷 5位

北海道駅伝競走大会 10/9~10 北見市

男子 下津太一 18位
伊東優真 補欠
女子 前田優里 5位

水泳

JOC夏季水泳競技大会 9/26~27 江別市
50m 及川律音 47位
100m 及川律音 57位

テニス部

秋季大会 10/13~16 帯広市
男子s 川田 1回戦敗退

弓道部

選抜大会 10/3~4 帯広市
男子個人戦 小嶋淋斗 予選敗退
女子個人戦 西川 柊 予選敗退

バレー部

全日本バレー選手権 11/12~14 札幌市
男子 1回戦敗退

卓球部

新人戦 12/18~20 旭川市
女子団体 4名

西、滝川、岩見沢緑陵、岩見沢農の合同チームが五位入賞を果たした。深川西から唯一出場の前田優里さん(二年)は合同チームの上位進出に大きく貢献した。
(提供…北空知新聞社)



前田さん(前列左から2人目)

関心ある地元企業をAIで分析

深川西高が職場体験

一・二年生が十月六、七の両日、A I(人工知能)の適正診断で選ばれた市内十の事業所を訪れ、職場体験を学んだ。地域の課題と向き合う地元企業の特徴を深く理解し、都市部に目を向けがちな高校生の視野を広げる狙いがある。

A Iを活用した企業紹介サイトは、就職情報大手の「マイナビ」(東京)が展開するLocus(ローカス)。地元企業への就職斡旋を目的に、市や深川商工会議所などで組織する「次世代人材確保対策協議会」が企画した。

道内では九月から運用が始まり、

空知管内での利用は深川西高が初めて。生徒たちは性格や好きな科目など十五分ほどの設問に答え、企業も同様に回答したアンケート結果を基にA Iが分析し、興味・関心の高かった企業と生徒を結びつける仕組みだ。職場体験に向けて事前・事後の学習に取り組むことで、地域と密接に関わる企業の役割や課題と向き合う姿勢など、業務内容を学ぶ従来の職場体験と比べて理解も深まるという。マイナビの担当者は「地域の課題を解決するために何を学ぶべきかを考え、進路を選択してほしい。どんな企業があるかわからないまま地元を離れるケースを減らし、故郷で

働く機会を増やしたい」と説明する。六日、一年生九十七人は建設会社や介護福祉施設など十事業所で職場体験。このうち、北空知信金本店には二十八人が訪れ、担当職員から信用金庫の役割について説明を受けた。担当職員は「お金を貸すだけでなく地域の人々や企業を育てることが私たちのお仕事です」と紹介。人口減に悩む地域の活性化を目的に開設した「地域振興グループ」の事業継承支援や社会貢献活動などの取り組みにも触れ、生徒たちはメモを取るなど熱心に聞いていた。

座学の後には、信金の計らいで現金一億円の束三つを用意。生徒たちは一億円の重さを確かめたり、スマートフォンのカメラで記念撮影するなど、興奮した様子だった。

(北空知新聞社・提供)

「繋がるということ」

校長 山本 英人



6月に入りようやく学校が再開し、日常を取り戻しつつある教室の様子にひと安心するとともに、今後は感染リスクをできる限り低減させながら、学び方の工夫や質の向上など、充実した学習活動にむけて、しっかりと取り組もうと気持ちを新たにしました。

さて、コロナ禍の影響を受け7月に予定をしていた学校祭を中止にせざるを得ない状況になりました。また、部活動に打ち込んできた生徒の皆さんは、目標としていた大会やコンクールの中止という辛い知らせがありました。特に3年生はこれまでの練習の成果を発揮する大切な舞

団体戦で全国出場7回の名将

バドミントン部・井上監督旭川商業へ



選手たちとの出会いに感謝

深川西高バドミントン部を全国区の強豪に育てた井上健一監督が転動した。体育科やスポーツコースの類を持たない公立校の本校を十五年間率い、女子団体戦で夏のインターハイに四回、春の選抜大会に三回の出場を果たした名将は「選手たちとの

再開を望む声が聞かれました。中には、勉強を教えてみたが、思った以上に教えることは難しかったとこぼしていた方もいました。

以前、北海道新聞に雨竜町の伊藤さんという方の文章が掲載されました。(以下、抜粋)「大阪の女子高生5人をホームステイで受入れたときのこと、田舎暮らしを満喫させようと、夜中に山へドライブに連れ出した。真っ暗闇の中、大はしゃぎする生徒たちを車から降りして、『上を見てごらん』と伝え、全員で空を仰ぎ見たその時だった。満天の星に、ひとときわ明るく瞬いた光が一筋、天を切つて流れた。息をのんだ生徒たちは『ねえ、ねえ!見た?見たよね!』と口々に叫び、手を取り合つて抱き合おうと、何と声を上げて泣き出したのではないか。私は目の前の出

りを果たした。当時の主力で、インターハイ個人戦でも結果を残した安藤理奈さん、本田恵利奈さんは大学、社会人でもプレー。本田さんは現在も日立化成(茨城県)で活躍する。また、十年のチームで三年生だった「五十嵐(七海さん)」と山田(唯衣さん)、この二人のそれまでの頑張りが、私に「全国に行ける」という手ごたえを与えてくれた」

選手たちには、「プレーヤーとしてだけでなく、生徒としても模範的な存在であってほしい」と、練習だけでなく、学業でも手を抜くことを許さなかった。テスト前の休み期間は、他の部活よりも長く取り、年二回の合宿でも学習時間を設けた。

選手たちは競技と学業を両立させるに茫然として、やがて涙までもらってしまった。同じ流れ星を見ても決して一人では生まれなかった感動だった。

これほどのドラマティックな出来事ではないにしても、家族でニュースを見て議論したり、音楽と一緒に聴いたり、自然に触れて経験や思い出を話してみたりすることなども学力の向上に大いに繋がると私は考えます。なぜなら、高校生ともなれば、手取り足取り教えてくれることよりも、何かを考えさせてくれる人の存在や書物・事象を通じて自ら思考し知恵を獲得することが必要かつ重要だからです。一見のんびりと過ごしているように見えても物事を観察し考えているものです。机に向かうことばかりを求めがちですが、少し違った角度から関わることも良いの

せ、大学、専門学校、社会人と、それぞれの希望する進路をかなえた。国立大に進んだ選手も多い。「部活動は、結果も大事だけれど、人間力を育む場でもある。そこには重きを置いて、指導にあたってきた」。加えて、高校卒業後も、多くの選手がバドミントンを続けてくれている。それはとてもうれしいことと語る。

強豪私学のようなスポーツ推薦制度はない公立校ゆえ、入学前のスカウトもできない。それでも、十一年の躍進をきっかけに、「この学校でバドミントンがしたい」「井上先生のもとで学びたい」と、道内各地の力のある中学生が、深西へ途切れることなく、入学するようになった。滝川や旭川、岩見沢などの近郊はもとより、十勝管内芽室町からは四年連続、さらには東京から越境入学してきた選手もいた。

十年のインターハイ初出場以降、

ではないでしょうか。蛇足ですが、ヨーロッパなどの諸外国では夏休みが2ヶ月以上の国もありますが、学力が低下して困るなどと問題になったことはありません。

伊藤さんの文章は、「人は共感すること喜びは増し、一人の悲しみは分散されるのだから」と続きます。今回、コロナ禍で辛い思いをしたけれど、周りからの多くの励ましをもらった生徒の皆さんなら、このことの意味がよく分かると思います。そして、ここからはいよいよ励ましに応える時です。応え方はもちろん、高校生活を謳歌し次に向かうことです。

この先をきり拓き創りあげようとする生徒に対して、私たちも一生懸命後押ししていきます。
(深西校報・令和2年9月1日発行・185号)

個人戦も含めて、全国大会に進めなかったのは一年だけ。毎年のように、全国の大舞台へ選手たちを輩出し、十四年には創部以来初となる春夏連続出場を達成した。

十八年春の選抜個人戦ダブルスでは、内山真希さん、佐藤 萌さんのペアがベスト4入りを果たし、夏のインターハイでもベスト8に進出。全国の頂点が見える位置に近づいた。さらに、国内最高峰の全日本選手権にも出場した。

「公立校の選手でも、やればできるといふことを、二人の背中を見て証明してくれた」。二人の背中を見て育った後輩たちも十九年シーズン、春の選抜に団体戦で出場を果たし、個人戦では中塩春菜さん、片山優亜さんが春夏連続で全国大会に進んだ。旭商に着任するが自宅は旭川市内にあり、「通勤が楽になるのはありがたい」と笑う名将が新天地でも手腕を発揮する。(提供・北空知新聞社)

開けし沃野渺々と

【ユリノキ】

昨年（R元）、まだだと思っていたので確認もしていなかったユリノキの開花を委員が発見。しかし、発見時が終盤だったためと位置が高所であらう痕跡しか確認できなかった。今年（R2）は無事開花に立ち会うことができた。地味な色のチューリップに似た花なので目立つわけではないが津田恭衛前同窓会長が口癖のように語っていた樹だっただけに念願がかなって感慨も一入であった。旧校舎はもともと肥沃の大地上に建てられ、前庭は当時の水田跡地で育ちが良いのか2007年に植え替えたときは庭ホウキ程の幹が13年で太もも程になり開花をみるこ



ユリノキの育樹に携わり試行錯誤を経験して、目の前に教育という見本が存在していることに気が付いた。1992年、深川市開基100年を記念し、校舎新築と同時に繰り上げて行った開校50周年を記念して西側に植えた5本のユリノキ。なんと整地されて固く締まった炭殻交じりの土質の悪さと風雪害などで枯死、2回程の植え替えも効果が出なかった。育つ環境を整えてあげなければ育たない。まさに教育そのもの

。ただし、雑草はこんな環境でも育つ。だから、雑草のように強くあれ！とも言われるのでこちらも正解か。それでも根の張りやすい沖積土と重機で踏み固められた固い土は家庭環境と置き換えることができる。いずれにしろ2本のユリノキは毎年花を咲かせてくれそうだ。

【ヤマボウシ】

かねてから植樹の樹種で念願だったヤマボウシ。2014年、委員が育てたヤマボウシの5本を東側に植栽したのだが、5年目で花をつけてくれたもののわずかに数輪だった。花に似た苞が美しい。花期が長い。秋になって赤い実がきれいで甘くて



美味しい。紅葉もきれいだ。あまり大きくならないなど申し分なし、



白とピンクがあるヤマボウシ。今年はたくさん花をつけてくれた。2016年補植したベニヤマボウシも昨年は数輪だったのが今年も同様にたくさん花をつけてくれた。秋に剪定をして樹形を整えたので次年度は花数が少し減るかもしれないがこの先長く目を楽しませてくれるうだ。

■新戦力を迎える

かねてから委員の補強を思案していましたが、岡部専門委員の尽力で今年度4名の方を迎えることができました。末松直樹さん(18期)・石川幸雄さん(20期)・山田正信さん(22期)・東典子さん(23期)です。今後の活躍を期待しています。

■協力者募集

緑の学び舎運営委員会も発足から13年を経過しました。開校時の古野校長の緑豊かな教育環境への強い思いは、時として止まってしまいそうになったり、細い流れであったりしながらかろうじて今日までつないで来たのが本当のところ。今期、4名の新しい委員を迎えることが出来ましたが、現委員も決してお若い委員ばかりではなく将来のことを心配するようにになりました。新規の事業を興さず、一年の仕事量も減らしながら対応していくつもりですが、いざいざ限界もきます。そんな訳で新しい仲間を求めています。是非一緒に汗を流しましょう。

深川西高等学校「緑の学舎運営委員会」

<令和2年度・事業報告>

- ◎ 2.02.01 令和二年度 第一回運営委員会（富士屋）
大西同窓会長・坪田委員長・堀川副委員長・岡部専門委員
寺前・寺下・石川雅・村中・藤井 各委員
事務局：溝口
【新委員】：末松・石川幸・東・山田
- ◎ 2.05.11 春作業下見。残雪状況確認
- ◎ 2.05.12 湧雲の泉への階段設置の為の下見
- ◎ 2.05.14 湧雲の泉への階段設置に付、中本土建と打合せ
- ◎ 2.05.19 春作業現地調査（通行可否下見）
- ◎ 2.05.29 春作業・同窓会林、校庭
(坪田・堀川・岡部・石川幸・末松・東・村中・山田・溝口)
- ◎ 2.06.12 校庭木整理
(岡部・石川雅・石川幸・溝口)
- ◎ 2.06.27 ヤマボウシに固形肥料を追肥
- ◎ 2.07.07 湧雲の泉に階段設置工事完了
- ◎ 2.07.25 記念碑回りの草刈り
- ◎ 2.10.10 卒業記念植樹
(坪田・堀川・岡部・篠原・寺前・末松・寺下・妻神・村中・山田・藤井・溝口)
新委員と湧雲の泉、修練道場研修
- ◎ 2.11.03 殺鼠剤の効果確認、現地
- ◎ 2.11.04 記念誌編集委員会
(坪田・堀川・岡部・寺下・藤井・溝口)



湧雲の泉に階段が設置される

■2020年5月12日
湧雲の泉下見
山道は残雪はあるもののかろうじて車が通れる状態。エゾノリュウキンカがきれいだ。
雪の重みなどで上り降りの足場がかなり崩れている。通行が可能だと連絡。

以前から中本博太さん(17期)の奥さんが人伝に同窓会林の中の湧水の存在を知り、大変気に入ってもえたらしくて年に数回水汲みに来ていたようです。その時に湧き出ているところまで降りて行くのに足場にと設置してある岩や山石の塊が不安定で恐ろしいので何とかしたいとお話を戴きました。同窓会としては以前から何とかしつかりした山石を埋め込んで安定した階段にしたいと思案していたところでしたので提案に便乗させていただきました。

■2020年7月7日
湧雲の泉に階段設置される
中本土建さんのご協力を得て「湧雲の泉」に至る急斜面に階段が設置されました。山の中であることから積雪量も多く、雪の重みに耐えるしつかりとした正規の階段は費用もかさむこと

かなり勾配が急なので階段がいろいろとついでに駐車場を拡張したい。

から雪害からの軽減を図るために太い鉄筋を使って階段を作成。これによつて階段へ積もった雪もいやすことができ過重がかからず負担を軽くすることが出来た。
従来は急斜面で足元の石組も不安定な状態でしたがしつかりとした階段が設置されたことで安心して水汲みができるようになったことは喜ばしい限りです。同窓生の皆さんにはあまり存在が知られていないのは残念ですが、この機会に認知されるようにアナウンスしていきます。
中本土建さん本当にありがとうございます。



どろやまぎ

(編集後記)

▼年初、中国では千人収容の仮設病院を十日で数箇所建設する報道が流れていました。数えられない位の重機がアリのように動き、整地した後から次々と建物が立てられ、設備が整ったところに患者が送り込まれてきた映像に怪しい気配を感じていましたが、道内では札幌冬祭り目当てにまぎれてきた観光客から第一報が入りました。その後の展開は皆さんの知るところです。

▼未知の物への興味と不安はいつの時代にもあります。コロナには興味は湧かず不安しかありません。どの世代も関係なく被害を受けました。教育現場での教師の苦勞と生徒の苦惱は想像以上だったと想像します。こんな感染症も地球規模で何度も発生していますが、日本は大きな災禍に遭わずに済みました。運が良かったのかもしれないし、生活習慣が西洋と違うからなのかもしれません。いつかは来るだろうと予測されたことが現実に来たと言ふことで国民もそれなりに対応していかなくてはいけないようです。コロナ禍で経済活動が世界中で停止した時がありました。特に中国では環境汚染が停止し、見たことがないような景色が現れたとか：

▼今号は「コロナ」で覆われてしまいました。そんな中でも卒業記念植樹が晴天の中で開催できたことは本当に嬉しいことでした。七名しか参加できませんでしたが生徒数も少なくなってきたことから、他校でも行っているような体験授業ができたらいいか。と考えるのは私だけでしょうか。

▼自然の中には科学にも数学にも文

化芸術にも今の私達が生きていくためのすべてにヒントを与えてくれる素材が満載です。まだまだ人類にとつて未知のものが沢山隠されています。机の前で勉強しても得られないものが数多く埋もれています。

▼残された時間が少なくなってきたと思うこのごろ、諸先輩を失った喪失感から何ども気を取り直してききましたが、遂に我が身の記憶の喪失感に見舞われているところです。気力や記憶、体力が薄れていくのは致し方ないことで、これはこれで順調な証かなどと書いた記憶があります。が、再認識しています。

▼令和三年度はコロナの行方と五輪、都知事、衆議院選挙など重要事項が目白押しですが、異人なのか偉人なのかアメリカのトランプさんの動向も気になりますね。
情報発信委員会
(溝口信義・記) (18期)

【お知らせとお願い】
※資料収集のお願い。毎度のことですが古い資料を探しています。終活の断舍利で経験していることですが生きていくうちに捨てられない資料も残された家族にとつてはゴミです。こうして貴重な資料も散逸して確保が困難になります。百年を目前にしてご提供いただけるものがあれば是非お願いいたします。お借りできるものはコピーをしてお返しいたします。

※創立五周年・復刻版
昭和23年7月20日発行
(A5判134ページ)
※十周年記念誌・復刻版
昭和18年4月25日発行
(A5判41ページ)
※創立20周年記念誌
昭和33年9月6日発行
(B5判102ページ)

※緑の字ひ倉運営委員会・五周年記録史
「緑魂は時空を超えて」
残部十部ほどになりました。ご協力いただければうれしいです。
(A4判154ページほとんどカラー)
※校歌・学生の歌・逍遙歌のCD
CDは卒業生へ記念品として贈呈しています。

※第60回 全校コーラス大会の記念DVD
記念DVDは全校生徒に記念品として贈呈しています。
※緑の系譜2019

「緑魂は時空を超えて」ブルーレイ映像はきれいですよ。在庫が少々
いずれも同窓生の皆さんの中で入手希望の方が居られましたら郵便振込にてお申込いただければ送料込みの一、〇〇〇円にて頒布いたします。
入手希望の方は左記口座に郵便振込にてお申込ください。
口座番号
0277012145435

加入者名
北海道深川西高等学校同窓会

